【提案項目】
26 （仮称）八本松スマートインターチェンジの整備促進について

【提案要旨】（仮称）八本松スマートインターチェンジの整備促進

■提案事項

○ （仮称）八本松スマートインターチェンジの整備促進及び関連市道整備のための予算を確保すること

既存の西条IC－志和IC間が11kmと離れていることから、高速道路の利便性の向上、周辺地域の活性化及び渋滞緩和を目的とした新たな交通拠点として、スマートインターチェンジの早期整備が必要である。

あわせて、山陽自動車道へのアクセス向上を図るため、アクセス道路となる（仮称）正力西１号線をはじめ、正力飯田線ほか４路線の市道整備が必要である。

【提案先：国土交通省・広島県】

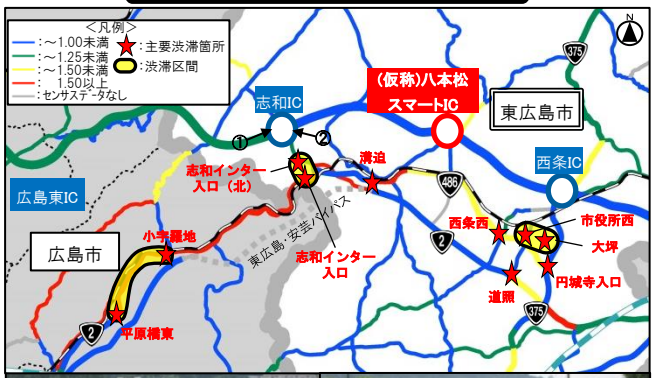
26 （仮称）八本松スマートインターチェンジの整備促進について

東広島市の現状と課題・取組状況

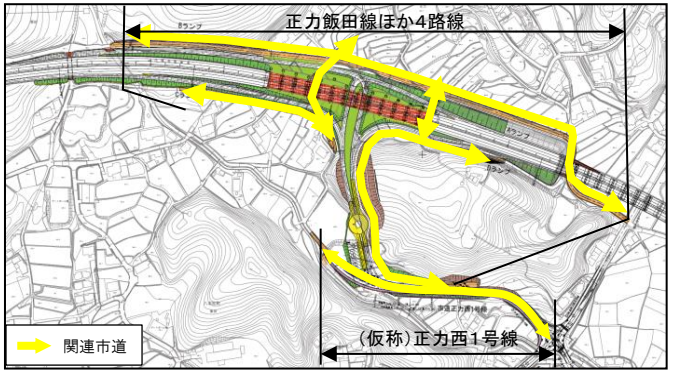
必要とする理由

○市が目標とするまちづくりを進めるなかで、新たな交通結節点となるスマートICの設置により周辺地域の活性化を図る。
○複数の工業団地、大型の工場が集積する地域であり、定時性の確保、輸送時間の短縮を図ることで、生産性の向上を図る。
○国道2号に開業した「道の駅 西条 のん太の酒蔵」のゲートウェイ機能を活用し、スマートICと連携した広域的な観光客を取り込む。
○スマートICへの1次アクセス道路となる（仮称）正力西1号線をはじめ、正力飯田線ほか4路線の市道を整備し、山陽自動車道へのアクセス向上を図る。

志和IC周辺の渋滞状況



関連市道の整備計画



○高速道路の利便性向上により周辺地域の活性化を図るため、（仮称）八本松スマートICの早期整備が必要
○渋滞対策やまちづくりにおける拠点性向上のため、スマートIC整備にあわせて、（仮称）正力西1号線をはじめとした市道の整備が必要